

News Release

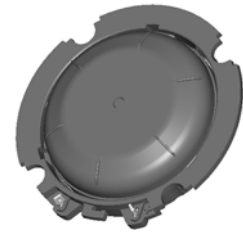
2020年 11月 16日

報道資料

パイオニア製エキサイターが NTT テクノクロスの「ウインドウスルー会話装置」に採用
～コロナ禍のコミュニケーションにおける飛沫感染リスクを抑制～

パイオニア製のエキサイター(振動素子)*が、NTT テクノクロス株式会社が11月24日より販売を開始する通話機器「ウインドウスルー会話装置」に採用されました。

「ウインドウスルー会話装置」は、NTT メディアインテリジェンス研究所が開発したウインドウトーク技術を搭載しており、ガラス越しに会話、コミュニケーションを行うことができます。コロナ禍において隔離環境でのコミュニケーションが求められる中、ドライブスルー方式の外来診療(PCR 検査など)、介護や医療現場における面談、飲食店のドライブスルーなど、窓ガラス越しに会話することで飛沫感染リスクを抑えられるシーンでの活用が見込まれています。当社の小型かつ軽量のエキサイターと、NTT メディアインテリジェンス研究所の制御処理・エコーキャンセラ・受話器設計(振動ピックアップ/マイク)などの音響信号処理技術を組み合わせることで、隔離した状況でも、車の窓ガラスやアクリル板の振動で音を伝授し、会話、コミュニケーションを行えます。



【「ウインドウスルー会話装置」の利用イメージ】

※エキサイター(振動素子):
音の信号を振動に変換する素子

「ウインドウスルー会話装置」商品ホームページ: <https://www.ntt-tx.co.jp/products/wintalk/>

【「ウインドウスルー会話装置」の概要】

受話器型の機器を窓ガラスに押し当てることにより、ガラス越しの相手と会話することができます。



* 「ウインドウスルー」は NTT テクノクロス株式会社の商標です。